

第7回農業活性化特別委員会

日時：平成28年3月17日（木）午前10時42分～

場所：市議会委員会室

◎ 第6回委員会からの継続協議として、委員からの農業活性化策について意見を出し合いながら議論を行った。

また、今後の研修内容について協議を行った。

1) 農業活性化策の委員からの提案

委員からの主な意見について

① 米粉の活用

小麦、そば等のアレルギーある児童、生徒がおり、既存の加工センターの製粉機を確認しながら、米粉パンの学校給食での活用並びに地産地消を推進するため方策を検討してはどうかの意見があった。

② 企業への原料供給

上記に取り組んだとしても、農家全体の所得向上につながらないことから、広大な農地を活用した農作物による原料供給も考えなければならないのではの意見があった。

③ 活性化策の柱

市において大きなウエイトを占める水田をフル活用するための方策、ブランド化を推進しているメロンに絞って活性化策を検討してはどうかの意見があった。

④ 後継者対策

議員自らも若い後継者の意見を聞くため、担当部に対して意見交換等できる場を設置していただけるよう働きかけることとした。

2) 今後の研修について

上記の意見を踏まえて、参考となる現場を視察するべきでないかの意見があった。

※ 次回は4月中旬開催し、どのような調査、視察を実施するか意見を出し合いながら、どのような活性化策が必要であるか、提言に向けて方向性を少しずつまとめていくこととした。